

俺の現場! 大松沢地区 道路改良工事

皆さんの現場のこだわりや、プライドを持って働く姿を紹介するこのコーナー。今号では、H.E.さんに現場の特色や、特に大変だったことをお聞きしましたので、ぜひご覧ください。

大松沢地区道路改良工事

場所 岩手県北上市

人数 多田工務店4名、全体8名



作業が難しい現場状況

今回は国道4号線での工事であり、今まで関わった現場に比べて特に車の通りが多いと感じました。片側一車線なので、常に渋滞しています。そのため、作業する場所も狭く、少々難しい現場だと感じています。

予想外の大雪

雪が降ることが多く、日によっては60cm積ることもあり、特に正月前後の時期は、ずっと除雪作業をしながらの工事をしました。雪で材料が見えなくなりますし、作成している材料の中に雪が入つて凍ってしまうといけないので、除雪作業は欠かせず、とても苦労しました。また、施工を計画するときは、雪が降ったときのことを想定していないため、工期は伸ばせません。現場の8人全員で協力して除雪をし、懸命に作業を進めています。

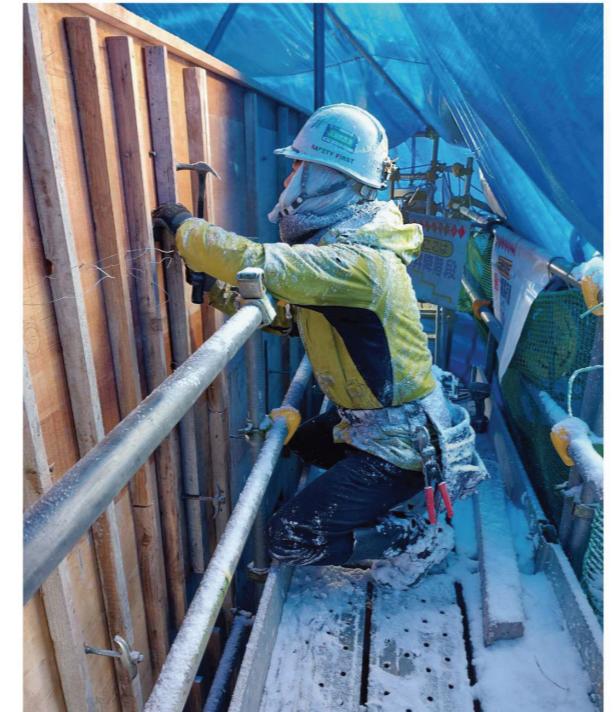


信頼できる仲間たち

今回の現場に携わるメンバーは、全員10年以上一緒に作業をしている仲間なので、大雪の中でも不安にならず、協力し合いながら作業を進めることができます。大変な状況の中でも、信頼できる仲間たちと仕事ができることに感謝しています。

今後の目標

今の現場は、あと1回コンクリートを打ち、足場を解体すれば完了します。無事に工事を終了できるよう、残りの工程も頑張ります。また、今後はもっと色々な現場を経験したいと思っています。



TK plus Vol.18 2022.3.25発行

縁の下の力持ち

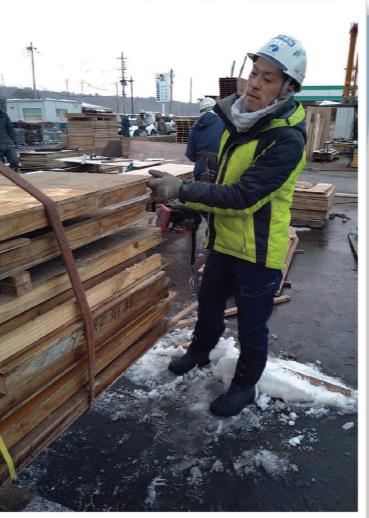
今回は多田工務店のA.F.さんにお話を伺いました！現場作業に欠かせない荷物の運搬業務を担い、縁の下の力持ちとして活躍されています。

車両部

A.F.さん

仕事内容を教えてください！

鉄筋コンクリートで建物を建造する際に必要となる型枠や鉄筋、足場などをトラックで現場に運搬する仕事をしています。



これまでに苦労したことはありますか？

前職では食品会社の工場に勤務していたので建設関係の仕事は全く経験がなく、ゼロからのスタートでした。そのため入社したての頃は覚えることが多く、仕事に慣れるのが1番苦労したことだと思います。何より大変だったのがトラックやクレーンの運転です。元々、旧普通免許（車両総重量8トン未満、最大積載量5トン未満、乗車定員10人以下の車も運転することが可能）を持っていましたので運転資格はあったのですが、それまで全く運転したことがなかったので操作に手こずりました。トラックの荷台の長さが5m以上あるため、大きく回らないと入れない場所や、現場が狭くて材料を降ろす場所に行くのが難しいところも多いからです。また、過去に1度だけ走行中に荷崩れしてしまったことも……。幸い、後ろを先輩のトラックが走っていたので何とか難を乗り切ることができました。その際に、荷崩れしないための荷物の積み方や固定方法など沢山アドバイスをいただき、以降より一層慎重に積むようにしています。

運搬業務で気を付けていることは何ですか？

運ぶ荷物の形はどれも均一に整っているわけではないので、形が特殊な物は落ちないように、全体のバランスを見て気を付けて積みます。また、1日で全て運ばなければいけない現場でない限り、無理に多くは積みません。安全第一で、荷物が落ちないようゆっくり無理せず運ぶことがポイントです。

また、自分だけじゃなく、周りの人に怪我をさせないようにすることを第一に考えています。公道を走るときは他車に迷惑がかからないように。現場では作業員とすれば違うときに接触しないよう、常に気を配っています。また、クレーンで重い荷物を扱う際は、誤って荷物を落としてしまわないよう一層の注意を払います。

最後に今後の目標を教えてください。

1日でも早く、ベテランのトラック運転手やクレーンのオペレーターのようになることが目標です。目の前の仕事をただこなすだけでなく、どうしたらスムーズに作業できるか、安全に作業できるか、試行錯誤しながら日々努力していきます。

